

# 鬼怒申だより



第6号

令和5年12月5日（火） 発行者 校長 高橋 裕一

生徒信条 ～ 自ら判断し、実行し、責任を持とう ～

**研究授業が2つありました！**

**関ブロ英語栃木大会（11月10日（金）） 1年 1組 栗田教諭**



栃木県において、9年に1度行われる「関東甲信地区中学校英語教育研究協議会栃木大会」（通称「関ブロ英語栃木大会」）が11月10日（金）に本校で行われ、1年1組で研究授業を公開しました。県外からも多くの先生方が集まり、100名弱の先生方が参観する中で、本校英語科の栗田教諭が指導しました。この研究会を開催するに当たり、数年前から研究部を立ち上げ、県内の教員による授業研究を行ってきました。研究授業校は本校を含め宇都宮市内の4校で、それぞれテーマに沿って授業を展開しました。過去3年間はコロナ禍のために、参集型の研究授業が思うようにできませんでしたが、今回は参集型+配信型のハイブリッド方式で行いました。業者が授業を録画し編集した後、後日配信されます。会場に行けなかった方々も全ての授業を視聴できるメリットがありますが、1年1組の生徒たちは多くの先生方の注目と撮影に、かなり緊張気味でした。しかし、栗田教諭の堂々とした指導ぶりや、ICTを駆使した新たな提案が素晴らしく、充実した研究授業となりました。1年1組の皆さん、お疲れ様でした。

**道徳要請訪問（11月28日（火）） 1年 4組 田上教諭**



本校は、毎年「要請訪問」として、宇都宮市教育委員会から指導主事や教科指導員をお迎えし、研究授業を行っております。「特別活動」と「道徳」の研究を交互に行っており、今年度は「道

徳」の年度にあたり、第1学年を中心に、道徳の授業研究を行ってきました。そして、11月28日（火）、1年4組において、田上教諭の指導の下、研究授業を行いました。研究授業には全教職員が参観し、その後、研究協議を行いました。

2019年に道徳が「教科」となり、「読み物道徳」から「考え、議論する道徳」に変わってきております。今回の研究授業においても、「考え、議論する場面」が多く取り入れられました。道徳には正解はなく、様々な事象をどれだけ「自分ごと」として考えられるか、また、心の葛藤の中で自己を見つめ、物事を広い視野から多角的・多面的に考え、人間としての生き方について考えられるかが重要です。本校生徒がそのようなことができるように、我々教職員は日々研究しなければならないと、今回の要請訪問で改めて感じております。

## ピカピカクリーン大会（11月18日（土））

ピカピカクリーン大会は平成4（1992）年から30年以上行われている伝統行事です。保護者や地域の方々と協力して美化・緑化活動をすることにより、「地域に貢献しようとする奉仕の心」や「地域を愛する心」を育てる素晴らしい活動です。

平成14年からは国土交通省や宇都宮市と協定を結び、新4号国道線沿いにフラワーロードを整備しました。コロナ禍等で活動が休止しておりましたが、昨年度から再び、積極的に整備を進めております。昨年、増やしたあじさいを国道新4号線沿いのフラワーロードに約30本植え、「あじさいロード」という看板も作りました。今年はさらに約40本植えました。数年後に、あじさいが咲き誇る「あじさいロード」を目指したいと思っておりますので、保護者や地域の皆様にはこれからもご協力お願いいたします。今回のピカピカクリーン大会においては、地域道路のゴミ拾い、フラワーロードの整備、校内のゴミ拾いや除草作業、教室のワックスがけ等、活動が多岐にわたりましたが、このような活動を通して学ぶことがたくさんあります。一番は、「人と人とのつながりや絆の大切さ」ではないでしょうか。生徒や教職員、保護者、地域の方々が一つの活動を通してつながっていく。そして日々の生活に生かされていく。素晴らしいことだと思います。これからも生徒の活動を支援し、絆を深め、鬼怒地域をさらに発展させていきたいです。

